

第26回 議会報告会

ご意見（行政への要望）に対する執行部からの回答

	① 子どもを教育する親の教育について	阿賀野市PTA 連絡協議会
件名	<p>・子供に対してどう接していいかわからない親が多い。PTAで勉強会や講演会をやっても、一番聞いて欲しい親が出てきてくれない。「子育て環境日本一」を掲げているならば、子どもを教育する親の教育についても、みんなが興味をひくような形で市が掲げて行って欲しい。タイミングとしては一人目が乳幼児期の頃しかないのではないか。そのタイミングで、市でも何かしらの仕掛けを行っていかなければならないのではないか。</p>	
<p>親と子どもとの関わり方につきましては、子どもの成長と共に変化しますが、こころの健康の土台づくりとなる乳幼児期は大切な時期と捉え、妊娠期・2か月児訪問・乳幼児健診・就学時健診時に、子どもの月齢・年齢に合わせたポイントを親に伝えております。</p> <p>第1子目の子育て支援につきましては、特に重要な機会となることから、BPプログラム（親子の絆づくりプログラム：第1子対象）という特別な支援を実施しているほか、2歳児教室やあそびの広場では、実際に遊びや触れ合いを通して、子どもとの関わり方を体験していただいております。</p> <p>第1子目の子育て時における親の教育につきましては、このたびのご意見を踏まえ、子どもたちに関わる現場の関係者が集まる保育学校現場連携会議からもご意見を伺いながら、更なる充実を図ってまいります。</p>		
担当 民生部 健康推進課 子育て係 ☎62-2510 （内線2610）		
	② 学校の介助員について	阿賀野市PTA 連絡協議会
件名	<p>・介助員を増やしてほしい。神山小学校においては、来年から特別支援学級が始まるので介助員の確保をしてもらいたい。なり手も少ないので給料をもっと手厚くしてもらいたい。</p>	
<p>介助員につきましては、毎年度、特別支援学級に在籍する児童生徒の状況を把握し、その状況に応じた人数を各学校に配置しています。</p> <p>新年度に新設される神山小学校の特別支援学級においても、必要な介助員数を配置することとしています。</p> <p>なお、介助員の賃金については、県内の他自治体の賃金を参考に算出しています。</p>		
担当 教育委員会 学校教育課 ☎62-2790		

件名	③ 白鳥公園のすべり台について	子育て支援センターつくし
	・白鳥公園のすべり台が故障しているが、いつ直すのか。	
<p>白鳥公園の複合遊具につきましては、昨年、すべり台の1つが破損したことから、そのすべり台を使用禁止にしていたところであり、公園利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしております。</p> <p>破損したすべり台につきましては、4月からご利用いただけるよう、現在補修を行っているところでありますので、今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。</p>		
<p>担当 産業建設部 公園管理事務所 公園管理係 ☎62-2690</p>		
件名	④ プールや水遊びができる場所について	子育て支援センターつくし
	<p>・プール、水遊びができる場所がほしい。B & Gは古いので行くのをためらう。また更衣室は汚いなど難あり。小学生まで無料とか子ども割引がほしい。 新潟市のプール施設で子連れ割引でもあればいい（アスパーク、遊水館利用）。学校プールも猛暑でダメになった。猛暑の年だけでも連携してほしい。</p>	
<p>安田B & Gプールにつきましては、昭和60年に建設され、市内唯一のプールとしてご利用いただいております。</p> <p>使用料につきましては、幼児が無料で、小学生には毎年1回、無料券付きのチラシを配布するなど、利用しやすい環境づくりに努めております。一人でも多くの皆さまからご利用いただくため、一般開放のほか、幼稚園・保育園・認定こども園からは園児の水泳教育の場として活用していただき、小学生向けには水泳教室やカヌー教室などを実施しております。</p> <p>更衣室につきましては、ご意見のとおり老朽化しているものの、毎朝の清掃を欠かさず実施し、利用者の皆さまから少しでも気持ちよく利用していただけるように努めてまいります。</p> <p>他市におけるプールの割引利用につきましても、近隣11市町村で各種連携事業を推進しております新潟広域都市圏で協議を進めてまいります。</p>		
<p>担当 民生部 生涯学習課 市民スポーツ係 ☎62-5322 (内線312)</p>		

件名	⑤ インフルエンザ・風疹の予防接種について	子育て支援センターつくし
	・予防接種について、インフルエンザ、風疹の費用助成を拡充してほしい。男性の接種を推進してほしい。土日や健康診断の時に接種出来ると良い。	
<p>インフルエンザの予防接種につきましては、65歳以上の高齢者の場合、法律に基づいて実施する定期接種で、平成30年度は1,620円の自己負担で接種できたものの、子どもや65歳未満の成人の場合、希望者が各自で受ける任意接種で、全額が自己負担となっております。</p> <p>しかしながら、子どもにつきましては、高齢者と同様に重症化しやすいことから、予防接種を勧奨するため、市の独自事業として6か月以上13歳未満を対象に、2回目の接種に対して1,500円を助成しております。</p> <p>予防接種の助成につきましては、65歳未満の成人の場合、加入している健康保険から助成されることがあることや、子どもの場合、助成額を平成25年度に1,050円から増額しており、同様の制度実施も県内20市中、11市にとどまることから、更なる拡充は現時点で考えておりません。</p> <p>土曜・日曜の接種体制につきましては、医療機関によって医療スタッフの労働環境やワクチンの効率的な確保などの事情があるほか、市が行う健康診断の日程とインフルエンザ予防接種に適した時期（10月～1月ごろ）が合わないことから、実施は難しい状況にありますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>風しんの予防接種につきましては、国の追加的対策として、平成31年度から3年間、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、抗体検査を原則無料で実施し、十分な量の抗体がない場合は予防接種を原則無料で行うこととなったところであります。</p> <p>この国の追加的対策につきましては、全国の医療機関の協力の下、事業所健診での抗体検査や夜間・休日の抗体検査・予防接種の実施に向けて体制整備が検討されるとのことですので、広報あがのや市ホームページ等で随時情報を提供してまいります。</p>		
担当	民生部 健康推進課	子育て係 ☎62-2510 (内線2634) 健康づくり係 ☎62-2510 (内線2622)

件名	⑥ 子育て世代における乳がん・子宮頸がん検診について	子育て支援センターつくし
	<p>・乳がん、子宮頸がん検診は子育て世帯を対象に拡充してほしい。若くてなる人も多く不安。対象年齢を引き下げてほしい。何かインセンティブを。気になった時に診てもらえるほうが安心できる。検診費用が高い。</p>	
<p>検診の対象年齢につきましては、子宮頸がん検診が20歳以上、乳がん検診が40歳以上で、厚生労働省のガイドラインに沿って実施しております。</p> <p>乳がん検診につきましては、若い世代の場合、マンモグラフィー検診などで正しく見つけられる可能性が低く、偽陽性（本当はがんでないのにがんが疑われること）の場合、不要な検査治療の受診や精神的なストレスの発生などデメリットの方が大きいことから実施しておりません。</p> <p>しかしながら、30代以下の人におきましても、乳がんを患うことはあることから、早期発見に向けて自己触診を定期的に行い、気になる場合は早めに医療機関の受診をお勧めしております。</p> <p>これらの検診受診者に対しましては、受診率の向上に向けて、あがのポイントを50ポイント付与しております。自己負担額につきましては、近隣市町村の動向を見ながら検討してまいります。</p>		
<p>担当 民生部 健康推進課 成人係 ☎62-2510 (内線2631)</p>		
件名	⑦ 保育料の無償化について	子育て支援センターつくし
	<p>・保育料の無償化で、これまで2人目から半額、3人目は無料となっていたがどうなるのか。</p>	
<p>国の幼児教育の無償化につきましては、10月からの実施を目指すこととされています。</p> <p>現在、市が単独で行っている保育料の軽減措置で、国の制度を上回る部分につきましては、引き続き実施してまいります。</p> <p>具体的には、無償化対象外の未満児（0歳児～2歳児）につきましては、以下のとおり実施してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年収500万以下の世帯で子どもが3人以上いる場合は、1人目の年齢にかかわらず、3人目以降が無料 ・市民税所得割が57,700円未満の世帯は、1人目の年齢にかかわらず、2人目が無料となります。 		
<p>担当 民生部 社会福祉課 児童福祉係 ☎62-2510 (内線2151)</p>		